

全国英語教育学会・小学校英語教育学会 第1回英語教育セミナー

日時：2017年7月2日(日) 13:00 - 17:30

会場：北海道教育大学札幌校 305 教室

参加申込：<http://u0u1.net/D62o>

(定員150名になり次第受付を終了いたします。)

問合せ先：

JASELE 研究企画部 畑江美佳 (mhatae@naruto-u.ac.jp)

コーディネーター 志村昭暢 (shimura.akinobu@s.hokkyodai.ac.jp)



講演

『CLIL-「梯子」をかけて「思考」を促す言語活動とは-』

講師：柏木 賀津子 氏 (大阪教育大学 教授)

ワークショップ①

『CollaVODで何ができる?』

講師：石塚 博規 (北海道教育大学旭川校)

ビデオによる授業研究

『北海道教育大学附属札幌小学校における教科化に向けた
英語授業』

講師：西本 有希 (北海道教育大学附属札幌小学校)

萬谷 隆一 (北海道教育大学札幌校)

ワークショップ②

『CollaVODを利用した小学校・中学校英語授業の比較』

講師：志村 昭暢 (北海道教育大学札幌校)



Schedule

12:30 受付開始

13:00 開会式

13:10 – 13:50 ワークショップ①

『CollaVODで何ができる?』

講師:石塚 博規(北海道教育大学旭川校)

13:50 – 14:40 ビデオによる授業研究

『北海道教育大学附属札幌小学校における教科化に向けた英語授業』

講師:西本 有希(北海道教育大学附属札幌小学校)

萬谷 隆一(北海道教育大学札幌校)

14:40 休憩 (10m)

14:50 – 15:30 ワークショップ②

『CollaVODを利用した小学校・中学校英語授業の比較』

講師:志村 昭暢(北海道教育大学札幌校)

15:30 休憩 (10m)

15:40 – 17:00 講演

講演『CLIL -「梯子」をかけて「思考」を促す言語活動とは-』

講師:柏木 賀津子 氏(大阪教育大学 教授)

17:00 閉会式

18:00 懇親会 つぼ八あいの里店

住所:札幌市北区あいの里2条6丁目1-4

電話:011-778-3713

会費:4,000円



講演(講演70m発表, 10m質疑)



『CLIL -「梯子」をかけて「思考」を促す言語活動とは-』

講師: 柏木 賀津子 氏 (大阪教育大学 教授)

第2言語習得理論(SLA)・小中連携の英語を専門としています。子どもが音声から英語を学ぶ際のSLAを踏まえ、梯子かけのある活動で、子供が「考える」場面を創り、言葉を重ねていく、CLIL(内容言語統合型学習)に取り組んでいます。講演では、小学校理科から「食物連鎖」、CLILを協働実践してきた自治体カリキュラムから「防災教育-want or need-」「私にもできる平和」を紹介したいと思います。21世紀型スキルに正面から取り組んできたフィンランド等EU国で行われているCLILにも触れたいと思います。担任の先生ならではの授業を考えるきっかけになればと思います。

ワークショップ①(30m発表, 10m質疑)

『CollaVODで何ができる?』

講師: 石塚 博規 (北海道教育大学旭川校)

CollaVODは外国語授業の改善のために開発された、多機能協働オンラインプラットフォームである。これまで授業研究は印象的な評価が中心であったが、CollaVODを利用することで、学生や教員が外国語授業分析法であるCOLT Part Aを利用して、授業を客観的に分析しその特徴を数値化して示すことができる。本発表ではCollaVODの機能とその利用事例について、また、教室持ち込み用COLT分析アプリについても紹介する。

ビデオによる授業研究(30m発表, 10m助言, 10m質疑)

『北海道教育大学附属札幌小学校における教科化に向けた英語授業』

講師: 西本 有希 (北海道教育大学附属札幌小学校)
萬谷 隆一 (北海道教育大学札幌校)

北海道教育大学附属小学校では、文科省の研究開発学校として教科化に向けた授業づくりに取り組んできました。本授業研究では、6年生の日本紹介を扱った授業ビデオを素材として、教科として英語授業が意識すべき要素について、事例に基づいて検討します。また授業分析的な視点も含め、多角的な授業研究を試み、参加者の方々と意見交換したいと思います。

ワークショップ②(30m発表, 10m質疑)

『CollaVODを利用した小学校・中学校英語授業の比較』

講師: 志村 昭暢 (北海道教育大学札幌校)

新学習指導要領において、小学校外国語活動の3・4年生での活動型による実施や5・6年生での教科化、中学校英語では授業を英語で行うことが原則となるなど、2020年は英語教育にとって大きな転換期を迎える。本発表では、英語授業における小・中連携を促進するために、小学校外国語活動と中学校英語授業について、授業分析手法である、Frohlich, Spada and Allen (1985)で開発された、Communicative Orientation of Language teaching (COLT) をCollaVODにより分析し、それぞれの学校種における英語授業の特徴を明らかにする。

Memo

